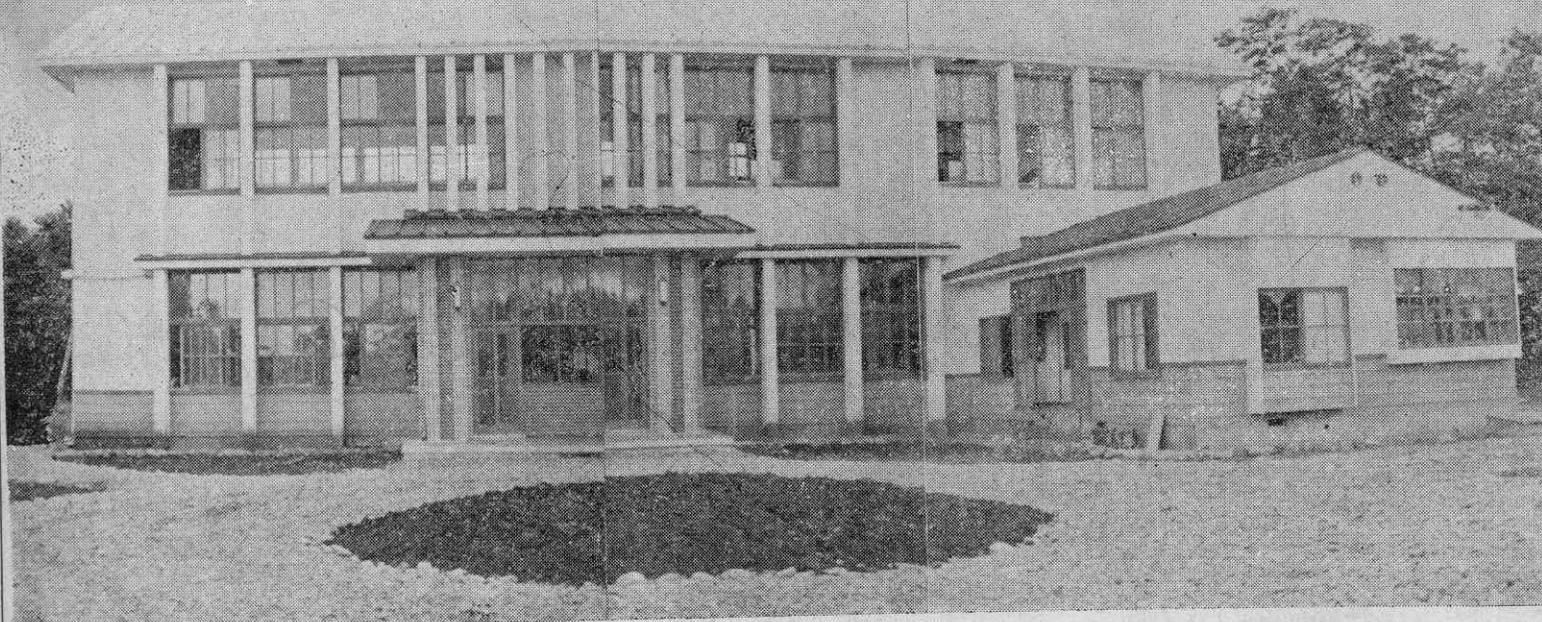


新 廳 舎 落 成 記 念 号



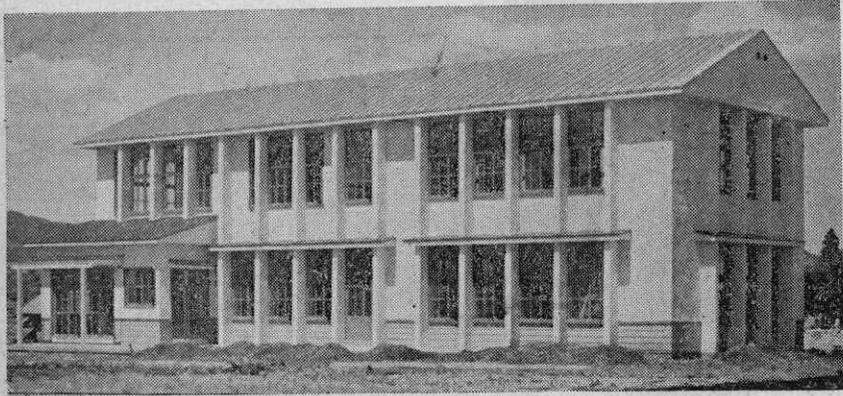
毎月2回10日・25日発行
 発行所 秋田県北秋田郡合川町役場
 編集責任者 杉淵佐一郎
 広報係 杉淵佐一郎
 (合川町役場給務課) TEL合川4番
 (1回発行部数2,350)



式 畠山町長 辞

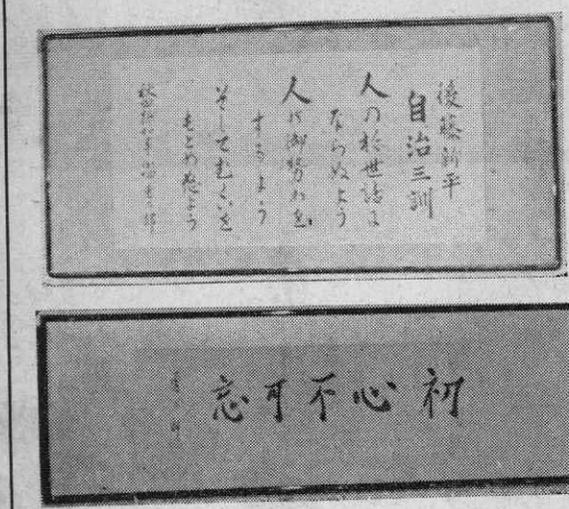
本日茲に県当局をはじめた極めて乏しい上に合併協とする来賓多数の御臨席の定による阿仁川を中心としもとに合川町役場庁舎落た合川町より李信部落に至成竣工の式を挙げることに直線基幹道路の建設とい出来ませうことは私ども終生う重大課題を背負つておつ忘れ得ない大きな感激を覚たのであります。

時代の進展とともに町村岸の旧道巾拡張工事を実施の適正規模が考えられ、町施し、さらに第二年度にあり村合併促進法のもとに上大たる昨年度においては役場野村、下大野村、落合村及新庁舎建設の實現と、過去び下小阿仁村は発展的解消数十年來、先輩各位が血のをなし、あらたに町民から滲むような努力にもかゝり公募した新町名「合川」がらず遂に貫通をみなかつた。発足したのは昭和三十年三川井地内の潰地承諾と工事月三十一日でありまして、の一部実施を住民感情齟齬人口約一万三千人、面積百のまま議事に諮つたところ十平方町の旧来から地勢人一時町政を混乱に陥し入れ情の類似した小じんまりでこのことについては提案のはあるが恵まれた環境の町時期を洞察出来なかつた小として出されたのでありま職の不明に起因するところす。しかしその反面においが大きく、深くお詫び申上て産業基盤が浅く、財源まげなければならぬと思つ



写真

上は 新庁舎正面の偉容
 下は 背後から見たところ



小畑知事から「額」

「庁舎竣工記念に」



畠山町長は新庁舎落成を記念する意味において、県知事小畑勇二郎氏に「何か揮毫を」とお願いして、いたるところさきごころを早速これを表装して、大会議室と応接室に掲げることになった。

新庁舎の落成にあたり今更の如く合併当時のことが思い出されてならない。どこでも合併するに当り第一番に問題にされたのは役場の位置であつた。わが合川町もその例にみれず、この調整には相当の永い期間を要したものであり、今更ながら新町発展に貢献するの気構えを新たにしようと思つた。

どうか合川町振興発展のために和衷協同大いに意気を旺盛ならしめ御奮闘されよう切望したい。

御存じですか？
 役場の位置
 役場新庁舎が駅前にあつたのはその番地まであつたにせよ、御存じでしょうか？
 新庁舎の正確な位置は、秋田県北秋田郡合川町新田目字大野八拾番地です。またこれを地図の上からみますと、北緯四十度十分、東経百四十度十九分ということになりま

次第であります。而し、賢明なる議会と町民各位は、町民の使命を任された四カ年間の任務と認識され、また関係者各位におかれても、それぞれ協力態勢をとられて、昨年度計の基本的な諸施策も一応と予定どおり進行致しまして、本日庁舎の落成をむかへたわけでありませう。

この間におきまして、道路及び庁舎に對して最大の御援助を惜しまなかつた。御礼を申し上げる次第であります。

本年度においては直線道路、路川井地内の路盤工事完了を計画し、明年度以降は橋梁工事の實現によつて合併協定の基本的問題を処理し、町永遠の基本を確立したいらに阿仁川橋、高長橋等の所存でありまして、財政の困難な町の事態から相当の困難が予想されますが、町民り町民は県政に強く期待を

の附託に應え身命を捧げて有終の美を果し、小職が委和と発展を意味する「新生合川町」の肉付けを待望し、おるものであります。何卒益々御援助を賜るよう心から御願ひ申上げる次第であります。

当では大野台の大規模開発を目前に控え、集約酪農地帯の計画を具現するならば旧來の米作所得に比肩し得る所得となり、また營農型態の改善により新しい農村生活が型成され、さらに合川町と李信の直線道路の實現によつて町中心街の形を現に考配し、中小企業の進成を企図して既存農家と相互関係をもちた新農工自治

新庁舎は小規模ではありませんが、設計担当者の佐々木和三郎氏、請負者の藤巢土建工業株式会社をはじめ、多々関係者の努力により堅牢優美、明るい庁舎となりました。今後環境の整備にまつて、真に当町の象徴として町民から親しまれるものと確信するものであります。本日御光来の各位におか



松橋議長 談話

新庁舎紹介

待望の新庁舎が半年ぶりに完成、今日はその竣工式である。新庁舎といつても大方の人々はまだ見ていないことと考えられるので係ではこういふ人たちのために写真でその一端を紹介することにした。

(註) 広報三十号の写真と一部重複するもの及び編集子の写真撮影技術の拙劣から非常に見づらい写真となり充分に紹介の意を尽し得ない点は御容赦ねがいます。(S)



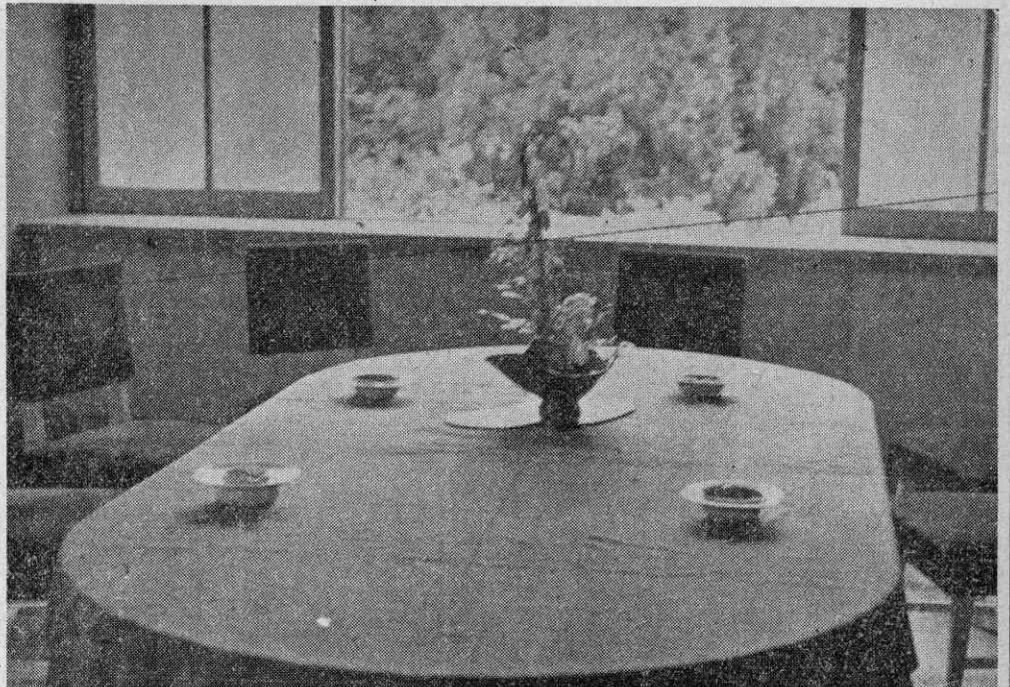
◇ 事務室

40坪の事務室に総務課、民生課、保険課、経済課、税務課、会計係の机がギッシリと並び、いささか狭苦しい感じがする。冬期になったらストーブをどこに据えようかと首脳部の心配の種になりそう。でも旧庁舎に比較したらセントウとバントウの違い？だと職員みんな張り切つて住民へのサービスに余念がない。

☆
★
☆
★
☆
★

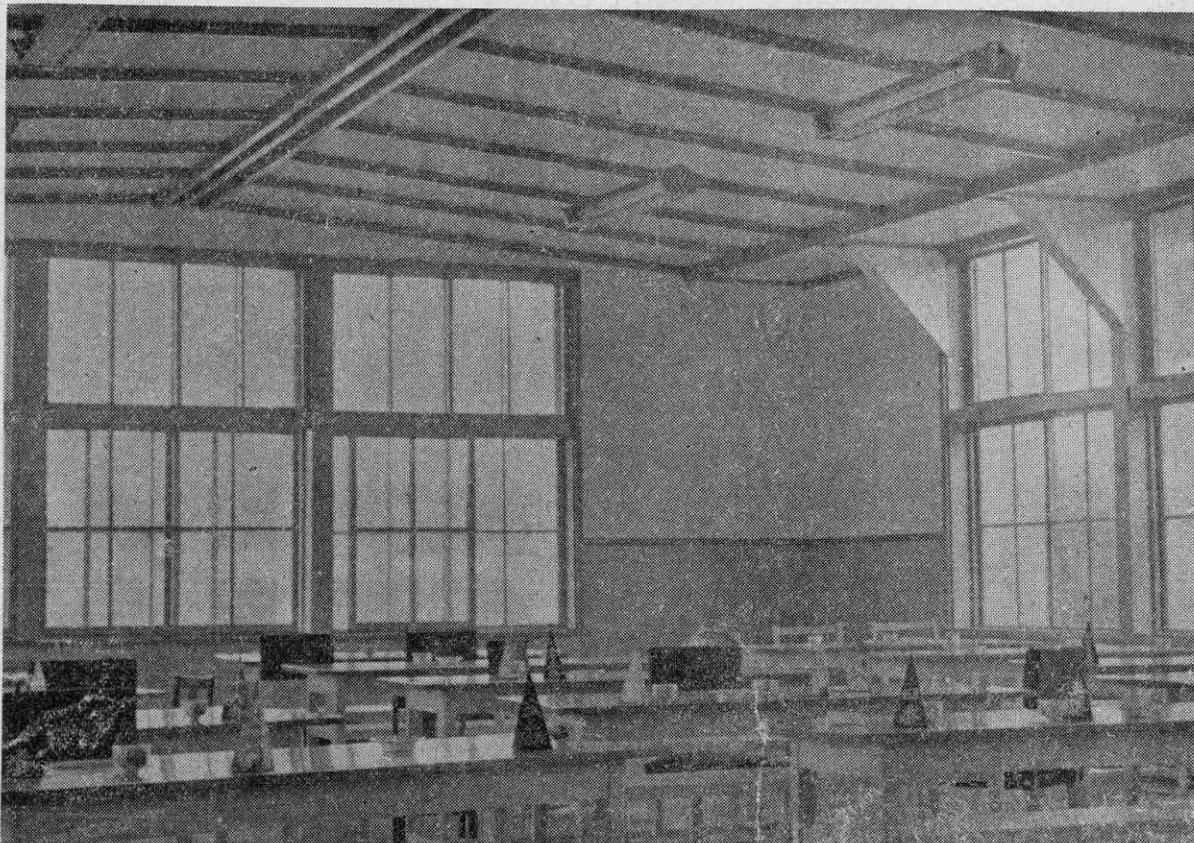
◇ 応接室

隋円形のテーブル上には女子職員の手で季節の花が活けられ、グリーンの来客用腰掛が十脚ほど来客を待っている。六坪の部屋、窓外の樹木のせい少し暗いようだ。町外からの来客をはじめ主な来訪者はここへ通され町長以下の関係者が応待にあたる。またときどき課長会議などにも使用されることがある。

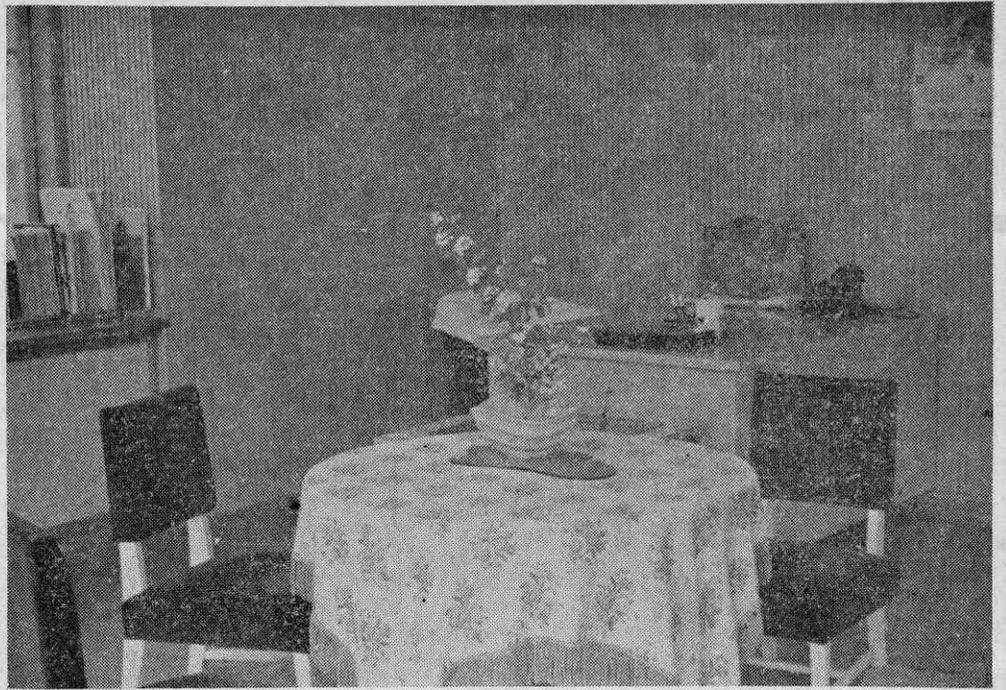
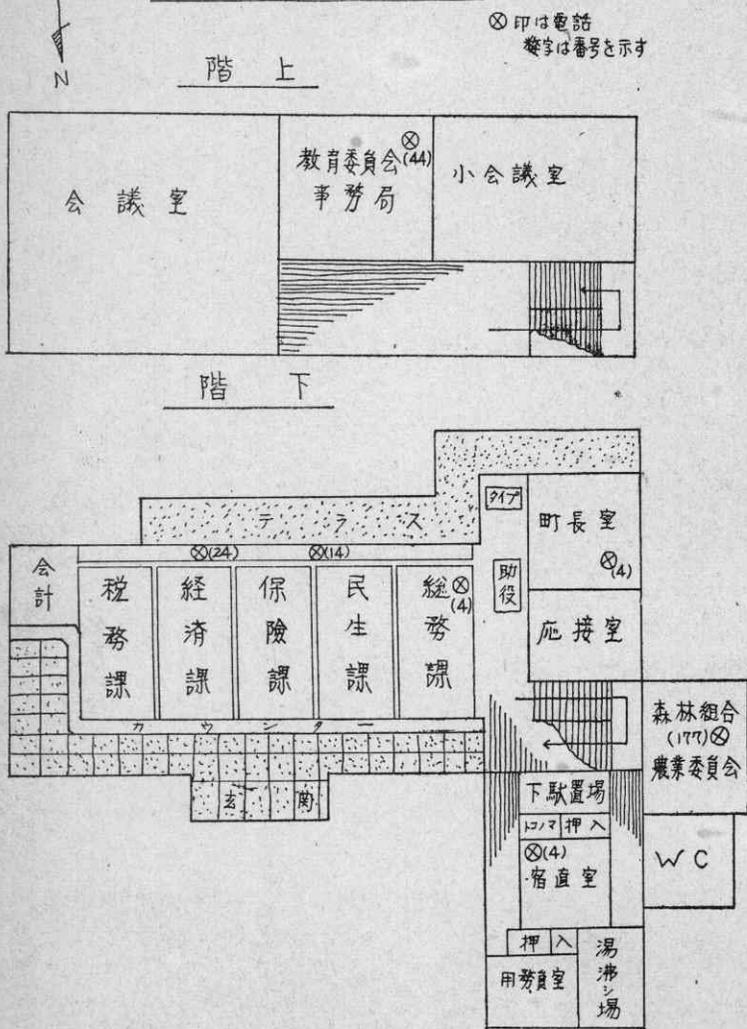


◇ 会議室

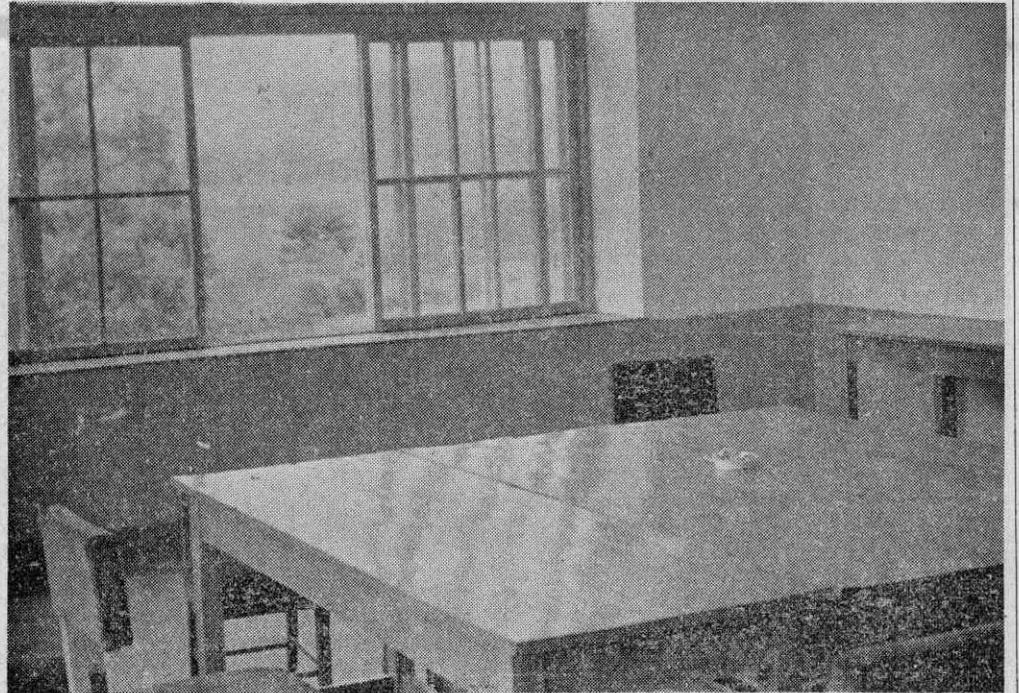
35坪。町議会をはじめ町民の大きな会議はこれから殆んど催されることになりそう。議会用として真新しい会議用テーブルとブルーの腰掛が最近設備された。



役場各課室配置図



◇町長室 町のいろいろな施策はここから生れる。6坪の室の南側にはテラスを設け採光の面でもよく考慮されている。大きな事務机と来客用の円卓、それにモダンな応接セットが設備され、昌山町長が執務している。



◇小会議室 小規模の集会用として使用される12坪の会議室。ときには民生課の福祉相談室にあてられることもある。

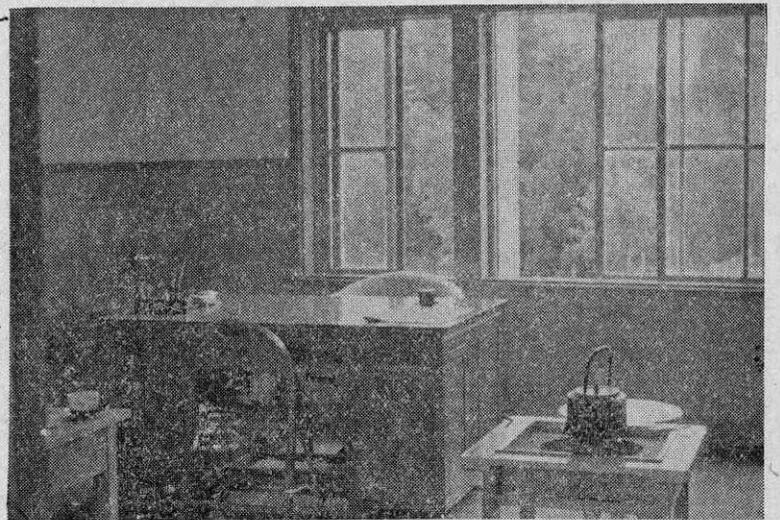


◇農委事務局と森林組合

階下西側の75坪の部屋に農業委員会と森林組合が同居している。森林組合は職員3名、農業委員会は専任職員が2名であるが両者一体となつて町の農林業の振興に邁進している。5日からこの室にも電話(合川177番)が開通し呼出しの不便さが解消された。

◇教育委員会事務局

教委は当初階下事務室に収容の予定であったが移転してみると役場だけで一ぱいなので第二小会議室として予定していたここに陣取ることにした。九坪の事務室に教育長以下四名の職員が執務、町のあらゆる教育行政にあたつてゐる。



各課の所管事項

◎総務課

- 一、職員の人事、服務に関する事
- 二、公印の監守に関する事
- 三、文書の授受、発送、編集及び保存に関する事
- 四、物品、器材、器具等の用度及び監守に関する事
- 五、庁中の取締管理に関する事
- 六、広報に関する事
- 七、条例、規則の制定及び解釈に関する事
- 八、歳入歳出予算の編成及び執行に関する事
- 九、町財産及び町債に関する事
- 一〇、自衛官の募集に関する事

◎経済課

- 一、農業の振興及び農業経営に関する事
- 二、主食の配給に関する事
- 三、米の予約売渡しに関する事
- 四、農地の調整改良に関する事
- 五、畜産に関する事
- 六、林業に関する事
- 七、道路橋梁に関する事
- 八、都市計画に関する事
- 九、建築に関する事
- 一〇、河川改修に関する事
- 一一、失業対策事業に関する事
- 一二、登記に関する事
- 一三、その他産業土木全般に関する事

◎保健課

- 一、国民健康保険事業に関する事
- 二、診療所に関する事
- 三、保健指導に関する事

◎税務課

- 一、町税の賦課徴収に関する事
- 二、土地台帳等の整備に関する事
- 三、税の指導に関する事
- 四、貯蓄奨励に関する事
- 五、その他税に関する事

◎民生課

- 一、災害の予防及び救助に関する事
- 二、消防及び水防に関する事
- 三、防犯に関する事
- 四、生活保護に関する事
- 五、赤十字に関する事
- 六、社会福祉に関する事
- 七、保健施設に関する事
- 八、伝染病の予防に関する事
- 九、環境衛生に関する事
- 一〇、戸籍及び住民登録に関する事
- 一一、外国人登録に関する事
- 一二、印鑑証明に関する事
- 一三、その他民生全般に関する事

新庁舎計画から竣工まで

新生合川町の象徴ともいべき新庁舎が竣工した。着工以来半年にわたる歳月と約六百三十万円の工事費をもつて町の玄関口合川駅前その偉容を誇る庁舎を見るとき、関係者の誰しもが過去を顧りみていままさらながら新たな感激を覚えるに違いないと思う。

その感激もあらたに今日は内外の来賓を迎えて竣工式を挙げることになつたが、工事経過報告書をひもどいて工事進行のあとをたどつてみよう。

新町建設計画の一環として設計を完了した。設計による木材所要製品、鋼管、工藤文之助、杉田一蔵、木村恒三、金田悦門、伊藤与十郎の八議員が選出され、工事の執行に協力するに決まらなかつた。

入札は三十二年十一月十日午後二時より東中学校において指名業者六名(小林組、佐藤組、鷹巣土建、伊藤組、中田建設、大同建設)による行われ、一時根田(舎外の整地、門柱、民各位とともに大いに喜びたいものである。

川沢敷地に適地を物色したところ東地区出身町議会議員の協力を、吉田嘉市ほか五氏の格別な厚意により、その所有地の譲渡方について交渉が成立、昭和三十一年度に入り町は財政再建団体の指定をうけるに至り、財政再建の策定と併行して当年度事業としての庁舎新築を計画し、自治庁当局の承認を得るに至つた。

この事業費財源の大半を長期起債に求め、東地区地方課及び大蔵省秋田財務部に申請の結果採択され、起債四百五十万円の見通しがつき不足分六十万円は一般財源より支出することとし、三十二年八月十六日庁舎建築議案、追加更正予算等を臨時町議会に提出し議決を経たので、合川町役場新庁舎建築はこゝに本格的決定をみたのである。

町当局では先ず、設計を佐々木三郎氏(秋田市)に依頼し、庁舎の規模構造等について種々検討を加えた結果、木造モルタル塗二階建延床百八十一坪、建坪百九坪(内訳は本屋の事務室会議室、町長室、応接室、廊下等一四七、二五坪、室直室、用務員室一九、二五坪、小事務室七、五坪、便所四坪玄関三坪)の本工事

全世界に記念品

功労者に感謝状

庁舎竣工の記念に

町では新庁舎の竣工式にあたり町内全世界帯に対し記念品(名入り記念手ぬぐい)を贈るほか、功労者の方々の左記十一氏に竣工式当日感謝状を贈呈してその労をねぎらうことになつた。

十一月十六日庁舎建築工事施工者
鷹巣土建工業株式会社
社長 河田嘉兵衛氏



感謝状

合川町役場庁舎建築工事に当りその請負をなし首尾よく竣工を見るに至り誠に誠意をもつて施工した



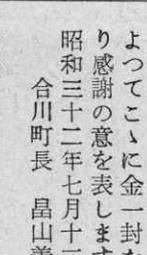
感謝状

合川町役場庁舎建築工事に当り、堅実清新の設計をなされ又施工監督に格別なる御尽力を得まして首尾よく竣工を見るに至りました。



感謝状

本町役場庁舎建築工事監督として格勤精励し首尾よく完工せしめたるは貴下の努力に負うところ大である。



感謝状

合川町役場庁舎建築工事に当り、堅実清新の設計をなされ又施工監督に格別なる御尽力を得まして首尾よく竣工を見るに至りました。

昭和三十二年七月十三日
合川町長 畠山義郎
功労者に感謝状
武石次男氏



畠山宇三郎氏



感謝状

本町役場庁舎建築事業が首尾よく完成したるは、



杉淵武一郎氏 関喜兵衛氏 木村恒三氏 工藤文之助氏 金田悦財門氏 金田一蔵氏

合川行進曲

成田米四

(一) 東にやモダンな町役場 駅はブロック ネオン街 合川の中学校 朝日の昇る大野台

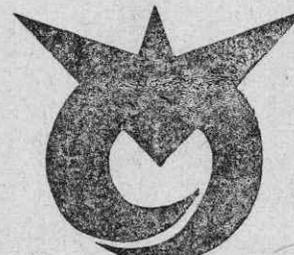
(二) 西には瀟洒な郵便局舎 仰ぐは白津の大美林 豪華を誇る診療所 市場のたつものこの地域

(三) 南にや出来るぞ永久橋 音に開えた大仏様と アフタケヤも支所もある 一番近いぞ南極に

(四) 北はオラが町長の出た所 見たか名園 樹温寺の となり明るい保育園 北とて寒くはないわいな

(筆者 南支所長)

わが町の町章



作者は 熊本市菜園町四三 平松敬堂氏

「町章の解説」 合川町の「あ」「い」を图案によつて 組合せ、躍進、近代的爽快さ、発展的 雄飛の象徴として表現したものである

町選挙管理委員会ではさきに開かれた委員会、来る十六日に執行される農業委員会選挙各選挙区の選挙長及び同職務代理者を次のとおり選任、告示した

東選挙区 長 今泉重治郎 同職務代理者 穴倉 養助

北選挙区 長 藤島助太郎 同職務代理者 藤島 啓三

西選挙区 長 木村 修司 同職務代理者 成田 源蔵

南選挙区 長 金田 仁市 同職務代理者 金田 市蔵

農委投票は八カ所

開票は即日午後八時から

みなさん!! 七月十六日は 農業委員の選挙です ひとりの棄権もなく 投票いたしましょう

【投票時間】 自 午前七時 至 午後六時

合川町選挙管理委員会

貴殿が建築委員として計画施行監督の万般に亘り多大の御尽力を得たる結果にして本日ここに竣工式を挙げるに当り感謝の意を表します。

昭和三十三年七月十三日 合川町長 畠山義郎

新田目投票区 新田目部落集会所
羽根山投票区 羽根山部落集会所
南選挙区 鎌沢公民館
鎌沢投票区
三木田投票区 南支所
根田投票区 根田保育所
根田投票区 根田保育所
東選挙区 旧東出張所
北選挙区 旧北出張所
西選挙区 旧合川町役場
南選挙区 南支所

各選挙区の選挙長などきまる

町選挙管理委員会ではさきに開かれた委員会、来る十六日に執行される農業委員会選挙各選挙区の選挙長及び同職務代理者を次のとおり選任、告示した